

受入団体名：平安講社 第八社（時代祭維新勤王隊）

募集人数

8名

プロジェクト名：時代祭応援プロジェクト

＜活動期間：2023年9月25日～2023年12月22日 活動日数：15日程度＞

＜活動日or 活動パターン＞

☐週1日程度・定例、☐月1～2回・不定期 ☒その他

＜活動の流れ＞

＜主な活動場所＞

平安神宮・西ノ京中学など

＜キャンパスからの交通手段＞

市バス、自転車

＜活動に必要な費用＞

活動場所への移動交通費など

＜参加の姿勢＞

別紙

＜コミュニケーションの手段＞

☒電子メール ☐ Facebook

☒LINE ☒電話

☐その他（ ）

日時	活動内容
開講期間前 (時代祭を理解するために参加を推奨します)	8月 6日 午前8時 衣装虫干し(平安神宮) 9月20日 午後1時 プレ・オリエンテーション(平安神宮) 9月20日 午後7時 入隊式(西ノ京中学) 9月21日 午後7時 練習準備(西ノ京中学)
9月25日(月) 午後7時	演奏・行進練習の補助 (10月20日までの練習期間中、午後7時～9時を交代で補助)
10月14日(土) 午前8時 9/4変更追記:8日→14日	時代祭収蔵庫(平安神宮)にて、衣裳の搬出と仕分け
10月15日(日) 午後1時	(神事)宣状式(平安神宮)
10月20日(金) 午後6時	最終練習、行進練習、衣装着付け説明(西ノ京中学)
10月21日(土) 午後6時	隊士集合場所の設営、進行路付近への看板掲出、前日準備 (西ノ京中学)
10月22日(日) 午前7時	時代祭参加(集合場所:男子は西ノ京、女子は平安神宮) 終了は午後9時ごろ(雨天順延)
10月29日(日) 午前8時	衣装返納(平安神宮)
地域理解のため、11月・12月に行われる消防団活動(毎月5・20日)、防災訓練(11月の各日曜日)その他に最低2回は参加して、地域活動を支える人々に出会ってください。	

<活動のテーマと主な内容>

時代祭を盛り上げるため君たちの力が欲しい！

時代祭は京都三大祭の一つです。このお祭は10月に行われ、約2000人の京都市民が平安から明治までの時代衣装姿で市内を歩きます。本プロジェクト受け入れ団体である平安講社第八社は「明治時代・維新勤王隊列」を担当していますが、担当役員の高齢化により、衣装管理や練習準備などの作業が困難となっています。ぜひ皆さんの若いお力をお貸してください。



時代祭行列に参加(10月22日)



平安神宮で「衣装渡し」(10月)



消防団の「夜回り」(年末)

<期待できる学び>

①京都の歴史・文化を深く学ぶことができる

②地域住民との協働作業を通じて、地域社会の現状や課題を知ることができる

③異なる年齢層との出会いや作業を通じて、対話力を鍛えることができる

<活動紹介>

◆時代祭

京都三大祭のひとつである時代祭は、平安神宮のお祭であるとともに「京都の誕生日」を祝う市民のお祭でもあります。時代祭の運営は市民団体である「平安講社」が担っており、京都市内を「社」と呼ばれる11地域に分け、社ごとに担当する時代列を決めています。本プロジェクトを受け入れる第八社は中京区内にあり、時代祭の先頭の維新勤王隊列を担当しています。（行列の様子は「時代祭 維新勤王隊」で検索すれば出てきます）

少子高齢化が進む昨今、お祭の準備や運営は年々難しくなっています。そこで、学生の皆さんに加わっていただきお力をお借りしたいと考えています。

◆時代祭を支える「地域」を知る

地域住民は、住みやすい地域環境づくりのため日頃から地域安全や福祉など様々な活動を行っています。そして時代祭の役員の多くは、これらの活動も兼職しています。そこで本プロジェクトでは時代祭だけでなく、地域活動にも見学・参加して、地域の実情や課題への理解を広げて頂こうと考えます。

お祭りのお手伝いだけでなく、**地域の一員としての視点を持った参加者**となり、地域社会をより深く考察できると考えます。具体的には消防団の夜回りを始め、地域一斉清掃、防災訓練、社会福祉協議会、民生委員や保護司活動などの見学・参加を考えています。現場で活動する地域住民の生の声に触れてください。

また「地域の子どもは地域が育てる」を理念に始まった京都の明治期の初等教育、番組小学校を紹介する「学校歴史博物館」の見学、さらに開催時期が合えば、地域住民が小学校で授業を行う高倉小学校の学校運営協議会「スマイル高倉」活動などにも積極的に参加し、地域社会の現場を体感してください。

参加した回数だけ視野が広がります。ぜひたくさん参加してみてください。

◆昨年の受講生から見た「地域」

2006年の開講以来、多くの受講生が地域を体験し学びを得ています。以下は受講生からの感想です。

「地域は常に誰かの労力と苦勞によって成り立っているということに気付いたので、私も地域の一員として（中略）地域に貢献する必要があると思いました。」

「時代祭の準備を行う第八社の取り組みに参加することによって、ただ参列するだけでなく、当日まで地域の方々がどのような準備をなさっているのかを知り、時代祭についての新しい視点を学びました。自ら考え、動き、学び取る姿勢を身に付けられたことは、今後の人生の糧になると思います。」

<受講生に求めること>

参加の 姿勢	当プロジェクトでは、学内よりも学外での活動を重視します。学外では新鮮な経験が数多くできますが、同時に煩わしいことや気を遣う場面も少なくありません。仲間と助け合うチームワークも必要です。 ①行動力...受講期間中は平安神宮や祭を担う地域、場合によっては他の祭礼の関係先などに出向きます。そして作業を手伝ったり、地域の人々と接したりする機会が多々あります。 ②自主性...活動の性質上、受講生側が主体的に動く必要があります。何かを「してもら」「教えてもら」という姿勢では何も学べません。何かを「する」「学びとる」という意識を常に忘れないでください。 ③工夫する力...活動をいかに充実させるかは、受講生次第です。面白くないと感じたら、自分たちが工夫して面白くしてください。ぜひ、皆さんのアイデアを提案してください！ ④チャレンジ精神...学外に出ると、立場が異なる人々に出会い、想定外の出来事にも遭遇します。「当たって砕けろ！」と踏み出せるかが成長の分かれ目です。 ⑤対話能力...当プロジェクトでは、お祭の関係者や地域住民と対話します。さらに、年代や立場が違う人たちと話すことができます。こうした対話を重ねる中で、地域の生の姿をつかむことができます。話好きな人、今は口下手だけど、頑張って会話上手になりたいという人もOKです。 現場に出る回数 × 意識 = 学びの深さ アクティブでチャレンジ精神あふれる人にぜひ参加してほしいです！！
-----------	--

<その他、プロジェクト実施にあたって期待すること(教職員も含めて)>

「学ぶために体験する」ことも必要ですが、本プロジェクトでは「体験の中から何かを発見して自分で学びとる」姿勢を大切にします。学内にとどまらず「**とりあえず現場に出てみて**、その意味が後日に分かる」ということを体験してください。また、教職員の皆さまも現場にお越しいただき、受入れ団体とは異なった視点での「気づきのポイント」をご教授いただけるとありがたいです。